

試作品を見た時、 凄え

って声が出た。

感じてですね。

プロジェクトには
みんな進んで立候補！

▼プロジェクトチームについてお聞きしたいんですが、メンバーはどのように選ばれたんですか？

広木：社長はミニカーを作るのならバキュームの車両でもう少し大きめで、どこにもないミニカーを作って欲しいと。

そこで、まず最初は松本と私で担当をするといったんですが、副社長よりいろんな部署からメンバーを集めて、みんなの意見でいいものを作り上げてくれとのことでした。募集をしたところ、いろんな部署から手をあけてくれました。こちらから押したわけではなく、自発的に、強制ではありません。

薄井：私は立候補しました。やりたいです!!。こういったのがありますということ聞いて即答しました。

広木：あとは、車両に詳しい業務の部長さんに声をかけました。

滝瀬：もちろん参加しました。俺しかいないでしよって。

実車のミニチュアを見せながら
家族やお客様に仕事の説明ができる

▼自分の会社のトラックがミニカーになった、その感想を聞きかせて

こだわっていたタンプアップもハッチの開閉も、複雑なパイプも。ひっくり返せば、スベアタイヤまでついていますから笑

▼色がついてきた時のサンプルを見た時の印象はいかがでしたか？

長尾：言、すげえですすね。それしかないもんなあ。うん。すげえの言。

広木：私も、すごいものが出来上がったなあという感じでした。

これを持って行った時の社長の喜びようというのが、よかったですね。おーって言いましたので。

▼一緒に梱包されている冊子やフィギュアについてはどうですか？

桑原：冊子は当社と産業廃棄物処理について、写真やイラスト、キャラクターを用い、なるべく平易な言葉を使つように心掛けたので子どもにも分かりやすくまとめたと思います。ミニカーの背景になるように、表紙を工場のイラストにしたのも良かったです。

完成!!

ただけますか。

凄え

滝瀬：このミニカーを従業員たちはも

らって、何が出来るかっていうと、自分の仕事はこういうことをしているんだよって家族に説明ができるんですよ。普通だったから実際に見ることはいいです。危険な作業も多いんで実車を目に見ることで少ないので、こういうふうな車を使つて、こういう仕事をしているんだよっていうのをあらためて伝えることができるのは大きいと思うんです。

坂井：私の場合、人事なので採用関係とか、説明会のブースにこのミニカーひとつ置いてあるだけで興味持ってくれる学生は必ずいるのできつかけになったり、こういったミニカーを作ることできる会社なんだよってPRになる点でもよかったです。

プロジェクトを完遂した達成感！私の仕事人生に爪痕を残せた

松本：実際にやってみると、やっぱり一年は長かったですね。これだ

やるわネ

ね。
長尾：小冊子は車両の名称とかなるべく色々引掛かんないようになっています。

以上、二つのミニカー製作が社内をいい形で巻き込んで、はらはらドキドキの様々なドラマが生まれたメイキングヒストリーでした。苦勞してできたミニカーが社内のあちこちにケースに入って飾つてあるのを見る度に熱い想いが甦るのではないのでしょうか？社員の皆さん本当にお疲れ様でした。

け細かい作業をコツコツと形から色から実物のサンプルが出来上がつてきて、そこから色の調整だなんだかんだ、タイヤがどうのこうのと色々なトラブルをかかえつつ、コロナ禍で工場がどうなるってことも抱えながら、苦勞してできた完成品なので、すごい嬉しい限りです。

自分の提案がここまで形になったということが、本当にありがたいですね。

広木：金額がとて大きかったんで、かなり不安がありました。でも最後にこつたものが完成したとき、社長にも副社長にも喜んでいただけたし、スタッフみんな喜んで、従業員のみんなからも欲しい欲しいという声が上がったので本当に嬉しかったですね。嬉しかったです。

こだわりますか？ 全部です、全部！

▼1回目の彩色サンプルの際はキャブのみラメ塗装してあり、その他の部分は成形色の青色でした。その際に納期もギリギリの中、追加のコストと時間をかけてでも全体ラメ塗装するかどうかの議論になりました。

2 原型・金型

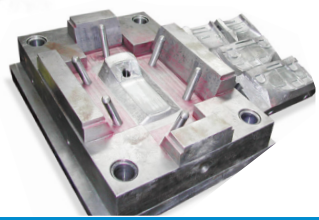
● 原型

原型出力見本。製品の大元となる大事な工程です。製品のサイズ感、細部の可動構造など細かくチェックします。



● 金型

製品が綺麗に効率よく成型できるよう繰返し調整をします。材料により違いがありますが、数万ショットへの耐久性があります。



3 金型サンプル

彩色に入る前の形状の最終確認。さまざまな材料を使うため、パーツの干渉などがないかチェックします。



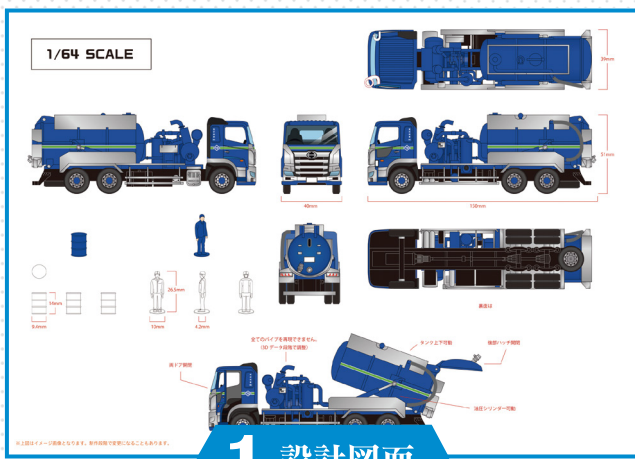
松本：最初はでも正直これ以上お金をかけるくらいなら、そのままいいんじゃないかメタリックにしてどう変わるんだと。実物で並べて、こっちがメタリックでこちらはメタリックなして、比べてどっちがいいって選べる状況じゃなかったんで、これにメタリックがついたら、こうなるのかくらいしか想像出来ないんで、そこに対してまたお金もかかる、だつたらやらないでもいいんじゃないか、という正直な意見もありました。

滝瀬：男のロマンですよ、いや、絶対塗るべきだね！って言いました。色がついてくると、重厚感も出てきてリアルさが出てくるなど。

薄井：僕もキャブだけラメでもいいかなと思つたんですが、実際全部塗られたのを見たらびびりして、いやー、ほんと塗装してよかった。運転席のドアの開閉は諦めましたが、最初からこだわっていたタンプアップとハッチの開閉、これが再現できたことが嬉しかったですね。

▼滝瀬さんの一番こだわった部分はどこですか？

滝瀬：こだわりますか？全部です、全部！最初から



1 設計図面

TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.

TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.

TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.

car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.TOBUSHOJI vacuum car.